

グローバルイノベーション創出支援事業
課題に対応するイベント
(平成27年 4月～8月)

大阪市経済戦略局

オープンイノベーション、大企業との連携

SMBC オープンイノベーションセミナー

株式会社三井住友銀行と共催

平成27年6月1日(月)

目的・概要

- ・オープン・イノベーションの促進をめざす、三井住友銀行×大阪ガスのコラボレーションイベント。大企業×中小企業・ベンチャーのみならず、大企業間の連携の可能性、新規事業戦略への効果にもスポットライトを当てる。
- ・講演、質疑応答及び情報交換タイムを通じて、参加者間のネットワーク拡大にも寄与する。

参加・実施状況

- ・大企業、中小企業、ベンチャーを中心に、当初の募集定員の2倍を超える129名の参加者があり、オープンイノベーションへの関心の高さをうかがわせた。
- ・三井住友銀行の蔭山秀一取締役副会長が冒頭のあいさつで「中小企業と大企業それぞれが持てる力を結集すること」を呼びかけた。大阪ガスの松本毅オープンイノベーション室長は、具体的な事例・実績を数多く交え、積極的に外部と協同することの無限の可能性について語った。
- ・その後、参加した15社の中小企業がショートプレゼンテーションを行い、活発な質疑応答が交わされた。

第10回 イノベーション・エクスチェンジ(株式会社アシックス)

大阪イノベーションハブ の主催

平成27年6月23日(火)

目的・概要

- ・大企業が共同開発パートナーを募集する、オープンイノベーション創出プログラム。
- ・アシックス社が自社の課題・ニーズを「説明会」において公開し、これを解決する技術を提案できる中小企業、ベンチャー、大学等とマッチングすることで、よりイノベーティブな製品・サービスにつなげる。
- ・説明会の後、参加者から提案された技術の審査を経て、アシックス社との個別面談を実施する。

参加・実施状況

- ・説明会には当初の定員を大幅に超える123人の入場者があり、footwear、apparel、equipmentの各シーズ分野ごとの説明の後、質疑応答が行われた。
- ・事後の個別面談には、19社(29案件)が参加し、共同開発に向けた実務的な交渉が進められている。

大企業との連携（ハッカソン、アイデアソン）

ABC（朝日放送）ハッカソン

朝日放送株式会社と共に

平成27年5月9日（土） チームビルディング・アイデアソン（予選）、5月10日（日）～11日（月） ハッカソン

目的・概要

- ・大阪が長年培ってきた、ものづくりの技術とアイデア、情熱を次世代に伝えていくことを目的に、ハッカソンを通じて世の中を変える「関西発の新たなものづくり」の創出に取組む。
- ・今回は「イベント×IT×ものづくり」をコンセプトに、「大勢が集まるイベントがより楽しくなるハードウェア」をめざしてチームでの製品開発力を競った。
- ・また、日本の放送局で初めて、ハッカソンを完全番組化した（6月21日（日）放映）。



参加・実施状況

- ・エンジニア、デザイナーのみならず一般の視聴者も含む130名が参加し、20チームを組成。
- ・予選を勝ち抜いた7チームと海外代表1チームの計8チームがハッカソンの最終プレゼンテーションに臨み、「ライブイベントで登壇者と目線が合うと光るファン向けグッズ」を開発した「レコチョク'S」が優勝した。
- ・イベントにおける双方向性やイベント以外への発展の可能性が評価された。

オリンパス オープンプラットフォーム・カメラアイデアソン

オリンパス株式会社 他と共に

平成27年7月11日（土）

目的・概要

- ・オリンパスのオープンプラットフォームカメラ「OLYMPUS AIR A01」を使ったアイデアソンを関西圏で初めて開催。
- ・参加者は、タッチ＆トライ、新しいアプリやアクセサリーの開発を通じて、開発者やサードパーティ等の参入を促す「オープンプラットフォーム」の考え方を体現することができた。

参加・実施状況

- ・46名（エンジニア、クリエイター、デザイナー等）が参加し、6チームを組成。
- ・「自転車搭載型の風景撮影装置」、「ロケット搭載型飛散式データ収集カメラ」、「植物が咲き誇る瞬間の自動撮影カメラ」など、新型カメラの特徴を活かした斬新なアイデアが創出された。



アクセラレーションプログラム

EXIT ベンチャー支援プログラム

公益財団法人 大阪市都市型産業振興センターと共に

平成27年7月25日(土)～12月12日(土)の期間中

「アントレプレナーコース」は全8回、「スターターコース」全13回 ※初回の開講式、最終回のピッチイベントは両コース共通

目的・概要

- ・経験豊富な先輩起業家からのメンタリングを軸に、短期間でIT分野の事業をブラッシュアップさせる実践型のアクセラレーションプログラム。
- ・ビジネスプランや起業の段階に応じて「アントレプレナーコース」と「スターターコース」の2種類を用意。

参加・実施状況

- ・アントレプレナーコースは6名が参加、「ピッチ＆メンタリング」を繰り返し行い、プレゼン手法からマーケティング、事業拡大、資金調達に至るまで手法を習得していく。
- ・スターターコースは13名が参加、市場で戦える Zero to One のビジネスプランを確立し、シードマネーの獲得をめざすほか、出会いを通じて幅広いネットワークを構築する。



文部科学省 EDGEプログラム 「GEIOT」カリキュラム

奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)と共に

「グローバルアントレプレナー基礎」は、平成27年5月9日(土)～6月13日(土)の間に5回

「グローバルアントレプレナー発展」は、平成27年6月20日(土)～8月8日(土)の間に6回 ※うち4回はNAISTで実施

目的・概要



- ・IoT分野において「製品やサービス全体の設計と実現」や「国際的な視野での起業・事業創出」を先導する優秀なアントレプレナーカリキュラム。技術力以外にも、社会のニーズを見抜き、ビジネスプランにつなげる能力を開発するため、「チーム」によって問題を解決する役割指向のアプローチを重視している。
- ・カリキュラムは、「起業家マインド醸成」→「要素技術の実践教育」→「チームを編成しての総合Project Based Learning」→「海外でのビジネス提案への挑戦」の4ステップで構成される。
- ・プログラム終了後も、大阪イノベーションハブと連携して起業支援等の個別フォローアップを実施する。

参加・実施状況

- ・5チームが組成され、「センシングデバイスによるメイク共有提案サービス」「歯磨きを教えてくれる歯ブラシ」「おなか周りを自動測定するベルト」などのアイデアが創出され、試作品の開発が進められた。
- ・8月8日の成果発表会では、7名の審査員により「どのチームに投資するか？」の観点での鋭い質問と、最後のブラッシュアップが施された。

ピッチ関係

KDDI ∞Labo × OIH ∞ #1

KDDI 株式会社と共に

平成27年 5月 31日(日) 13:00~20:00

目的・概要

- 独自のベンチャー支援プログラムを展開するKDDI∞Laboが、地方連携事業の第一弾として大阪市(OIH)とコラボしたコンテスト形式のピッチイベント。
- 大阪をはじめ関東圏以外の起業率向上と、パートナー企業とのビジネスマッチングによる大阪のスタートアップの成長、地元経済の活性化をめざす。



参加状況

登壇者 13組／聴衆 100名(VC、金融機関、マスコミ、大企業、スタートアップのCEO等)

実施状況・結果等

- 優秀賞に選ばれたOHCプレイヤーの3社(Cofame、あっと株式会社、株式会社アロマジョイン)が、後日東京で開催された「KDDI ∞ Labo × DemoDay」に登壇した。

Tech in Asia Tour 2015 –Road to Tokyo–

Tech in Asia (PENN OLSON JAPAN)と共に

平成27年 6月 30日(火) 18:00~22:00

目的・概要

- 国内地方都市(仙台、福岡、大阪)及びアジア都市(ソウル、台北、香港、シンガポール、マニラ、ジャカルタ、ホーチミン、バンコクなど)を回る、Tech in Asia Tour –Road to Tokyo– の一つ。
- スタートアップに登壇する機会を提供し、製品・サービスをイベント参加者やメディアを通じて発信するとともに、各都市のスタートアップエコシステムを活性化することを目的としている。



参加状況

登壇者 5組／聴衆 48名(VC、金融機関、マスコミ、大企業、スタートアップのCEO等)

実施状況・結果等

- 医療用画像・動画を患者の臨床経過とともに収集・共有するための医学系学術雑誌サービスを開発・運営する現役医師が起業した「Research Mind」が優勝し、東京への切符を手にした。

グローバルネットワークの拡大

ロンドン副市長と語るイノベーション

英国総領事館と共催

平成27年7月1日(水)

目的・概要

- 世界有数のイノベーション牽引都市ロンドンの副市長と、日英でイノベーション創出の最前線に立つ産学官のパネリストたちが、イノベーションを起こすうえで都市の果たす役割について語り合い、国・都市をまたいだパートナーシップ構築の可能性を探る。

参加・実施状況

- 日英の企業や大学・研究機関、官公庁、NPO法人など101人が参加。
- 「ロンドンでのイノベーション創出のしくみ」「地域でイノベーションを起こすうえでの課題」「イノベーションのためのパートナーシップ構築の最良の道」などのテーマについて、ロンドンTech CityやMed Cityのイノベーション・エコシステムの成功例や大阪イノベーションハブの取組みも交えながら議論した。



関西出身イスラエル CEOが語る世界最先端事例と海外起業のリアル

ANIWO株式会社と共催

平成27年8月5日(水)

目的・概要

- 世界中から注目を集める「スタートアップ大国」イスラエルで起業し、スタートアップ支援を行う日本人初の現地企業CEOが、スタートアップが次々に生まれる好循環、現地スタートアップの保有技術、イスラエルとのビジネスで成功するヒント、起業に際しての体験談を紹介し、海外での起業を希望する学生などの奮闘を後押しするイベント。

参加・実施状況



- 学生等の起業家予備軍、大企業の新規事業担当者、在日イスラエル人など35名が参加、欧米のトップグローバル企業から次々に投資を受けるイスラエルのイノベーション創出力の秘訣を共有した。
- 「毎日のようにピッチが行われている」、「投資家とスタートアップとのギャップを埋めることで成功」、「まずは可能なエンジェル投資家のネットワークを最大限に活用してビジネスを拡大」など、まさに大阪・関西がめざすべき姿に近いイスラエルのスタートアップシーンの実態の紹介は、非常に示唆に富む内容であった。